

学力向上に効果のある取組事例

日田市立桂林小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

《基礎基本定着のための日常活動》

(1)ドリルタイムの充実

①計算タイム(月・金)

- ・系統的な四則計算の継続徹底。
- ・AIドリル(キュビナ)を活用し、個に応じた内容に取り組ませる。
- ・週末課題のやり直しの徹底。

②読み取りタイム(火)

- ・文章の読み取りによる国語の読解力の向上。
- ・一人読みができるように読み方の指導を行う。

③100マス作文(木)

- ・設定された、条件に沿って作文を書くことにより文章表現力の向上を目指した指導。

(2)スマイルタイムの計画的実施

①週に1回(水曜日の朝)ショートエクササイズ

②学期に1回はロングサイズエクササイズ

- ・「友だちづくり」「自分づくり」「仲間づくり」でいじめ・不登校を生まない学級及び学校づくりの促進を行う。
- ・なかまとのつながりを深め、自由に話し合いのできる環境づくり
- ・「自分のことも相手のこともよく知ろう」をめあてに、「相手の顔を見て話しましょう」「うなずきながらききましょう」「相手の話は最後までききましょう」の話し方・聞き方のめあてを毎回位置づける。

(3)前時まで復習の徹底

- ・理科の導入では、本時につながる前時までの学習をふりかえる時間を設定して、復習を行う。



↑AIドリルに取り組む様子



↑スマイルタイムの様子

取組の具体②

《主体的に学習に取り組む態度の涵養》

(1)学習計画表の作成と実施

- ・算数科で単元の学習計画表(学習進行表)を作成し、児童が見通しをもって授業に臨めるようにした。
- ・学習計画表には「めあて」を書いており、本時にどのような学習をするかゴールが見えるようにしている。また、児童は授業の終わりに「ふりかえり」を記入し、いつ・どのようなことを学習したか自分で学習計画表やノートを使って、いつでも調べられるようにしている。

(2)考える場の工夫

- ・課題の解決に向けて、「自分で」「友だちと」「ヘルプ(先生と)」の中から学習方法を自分で選択させて、考える時間を設定。
- ・学習を進めていくにつれ、「友だちと」を選んだ児童が「自分で」を選ぶなど、主体的に学習する姿が見られるようになった。
- ・適宜、ノートを回収し評価・指導を行う。

分数のたし算とひき算を考えよう		
「分数のたし算とひき算」学習計画(9時間)		
時	月日	めあて
1		分母も分子もちがう分数の大きさの比べ方を考えよう
2		大きさの等しい分数について調べよう
3		分数の大きさを数直線や図を使わずに比べる方法を考えよう
4		通分のしかたを考えよう
5		大きさのわかりやすい分数になおす方法を考えよう
6		分母のちがう分数のたし算のしかたを考えよう
7		分数のたし算、ひき算のしかたをさらに考えよう
8		帯分数のたし算、ひき算のしかたを考えよう
9		PIOT「まよめの練習」をしよう

